

テーマ :成長と学びを支えるカリキュラム『学習支援論』

カテゴリー:③教育方法(演習・実習)

学校概要 :学校名:福井県立看護専門学校 所在地:福井県福井市四ツ井2丁目 8-1

課程名:3年課程 1学年定員数:40名 修業年限:3年

内容: 1952年(昭和27年)創立の歴史ある当校では、他学年との交流を深めるために縦割りグループでの学校行事運営を行うとともに、演習および基礎看護学実習において看護技術や実習記録の指導を上級生が一部担ってきた。これらの上級生下級生間指導を2022年の看護基礎教育カリキュラム改正から、成長と学びを支える『学習支援論』として科目設定した。

### 科目の概要

目標: 1. 自ら探求し、学びを深めて、知識と技術を身につける (1・2・3年生)

2. お互いの意見を尊重しながら、グループ目標に向かって 協働していく姿勢を身につける (1・2・3年生)

3. 技術指導を通して、他者の学びを支えると同時に、自らも学ぶ姿勢を身につける(2・3年生)

3つの目標をそれぞれに Ideas(基礎知識)・Connections(つながり)・Extensions(応用)の3段階の到達目標を掲げ、3年間を通して成長するための課題として設定した。

### 授業運営の実際

	学習支援論Ⅰ (1年生)	学習支援論Ⅱ (2年生)	学習支援論Ⅲ (3年生)
9月		洗髪・足浴・車椅子移乗/移送・寝衣交換	洗髪・足浴・車椅子移乗/移送・寝衣交換 指導
10月		基礎看護学実習Ⅱ	基礎看護学実習Ⅱ記録等 指導
11月	バイタルサイン測定技術	バイタルサイン測定技術 指導	
	基礎看護学実習Ⅰ		基礎看護学実習記録等 指導

1~3年生を縦割り班としてグループを編成し、1年生は入学直後から他学年と交流を図っている。学習支援論ではその縦割り班を使って年間を通して上級生下級生間での指導を行う。

下級生は基礎看護学実習を控える時期からバイタルサイン測定技術や日常生活援助技術を練習し、学習支援論の授業時間に上級生から指導を受け、技術試験の準備を行う。上級生は指導計画を立てて、下級生指導の準備を行う。一連の学習過程の中で、他者の学びを支えると同時に自らも学ぶ姿勢を身につけ、社会人基礎力の向上を目指す。

### 授業後の学生の声と評価

上級生からは「教えるだけでなく自分で考えるように導くのが大変だった」「事前準備と十分な知識がないと指導はできないと分かった」など指導する上での困難を感じる意見や「下級生に根拠や理由を聞くことが大事」「病棟での実習経験と根拠を合わせて伝えると理解してもらえた」など指導の工夫につながる意見が見られた。また「領域実習を乗り越えてきた自分たちの成長を感じた」「技術の根拠について再確認できる良い機会だった」という意見から、学びの深まりや再学習の機会となることがわかった。下級生からは「自分たちで気づけなかったことを教えてもらい技術を向上させることができた」「実習の体験を教えてください、より実践的な技術になった」という意見が多く、次年度に向けて「先輩みたいに指導できるように技術を身につけたい」「先輩は知識豊富で格好良かった。自分ももっと勉強を頑張りたい」といった、今後のビジョンにつながる意見もみられた。上級生下級生ともに「楽しかった」「交流機会になった」「技術試験がんばって合格してほしい」などの肯定的な意見が見られた。これらから、それぞれの目標に対して、学生は各段階を経て確実に成長していると考えられる。

### 今後の展望

新カリキュラム3年目となる今年度は、すべての学年で学習支援論の授業を実施する。目標である3つの力を身につけるために、授業後の学生の声から課題を見出し、ブラッシュアップしていきたい。

